

日時：平成20年12月8日(月) 午前10時～午前11時5分

場所：公立大学法人熊本県立大学 大会議室

出席：学長 米澤 和彦
副学長 古賀 実
事務局長 富永 安昭
文学部長 三木 悦三
環境共生学部長 大和田 紘一
総合管理学部長 松岡 泰
学術情報メディアセンター長 山田 俊
文学研究科長 半藤 英明
委員 石井 博憲
委員 河原畑 廣
委員 坂本 元子

は、公立大学法人熊本県立大学教育研究会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者である。

事務局：豊田事務局次長、井上学生サービス担当次長兼教務入試課長、馬場総務課長、稲葉企画調整室長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報メディアセンター事務長、枝城地域連携センター事務長、安達入試班長、上村主幹、田尻参事、林参事

1 開会(進行：豊田事務局次長)

2 学長挨拶

3 議事(議長：米澤学長)

(1) 審議事項

平成21年度入学者選抜における合格者決定について

事務局から、平成21年度入学者選抜における合格者決定について、資料1-1に基づき、「11月30日に試験を実施し、学則の規程に基づき、各学部の教授会で判定結果を得たので、御審議いただきたい。」との説明があった。

・ 推薦入学

三木文学部長から、資料1-2(会議後回収)に基づき、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対して志願者は14名であった。試験の結果は、得点の合計の5位が2名いるため、上位6名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対して志願者は14名であった。試験の結果は、得点の7位、8位が僅差であるため、上位8位までを合格としたい。」との説明があった。

大和田環境共生学部長から、資料1-2(会議後回収)に基づき、「環境資源学科は、募集人員3名に対して5名の志願があった。試験の得点上位3名を合格としたい。居住環境学科は、募集定員4名に対して9名の志願があった。試験の得点上位4名を合格としたい。食健康科学科は、募集人員4名に対して19名の志願があった。試験の得点上位4名を合格としたい。」との説明があった。

松岡総合管理学部長から、資料1-2(会議後回収)に基づき、「総合管理学科は、募集人員50名に対して、76名の志願があった。例年53名程度を合格としており、今回も得点の上位53名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

・ 社会人特別選抜

三木文学部長から、資料1-2(会議後回収)に基づき、「日本語日本文学科の社会人特別選抜に1名の志願があったが、それぞれの科目の得点が6割を超えており、合格としたい。」との説明があった。

大和田環境共生学部長から、資料1-2(会議後回収)に基づき、「食健康科学科の社会人特別選抜に1名の志願があったが、合格基準に達せず不合格とした。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

・ 帰国子女特別選抜

松岡総合管理学部長から、資料1 - 2（会議後回収）に基づき、「総合管理学科の帰国子女特別選抜に1名の志願があり、合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

教員採用に係る枠取りについて

事務局から、教員採用に係る枠取りについて、資料2に基づき、「採用を予定する教員は、専門分野が日本近代文学で年間150コマを担当する予定である。職位は、准教授又は講師で、平成22年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続けて三木文学部長から、「定年退職後の教員の枠取りをお願いしたい。平成22年4月採用とし、来年度に公募することとしたい。日本近代文学の分野は、日本語日本文学科の柱となる分野であり、高校生の関心も高く、地域とつながりを考える上でも軸となる分野であると考えている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

再入学試験の実施方針（案）等について

事務局から、再入学試験の実施方針（案）等について、資料3に基づき、「本学においては、再入学試験の実績はないが、今回3年次まで英語英米文学科に在籍し、平成20年3月31日付けで退学した学生から再入学の希望があった。再入学については、学則及び編入学等に関する規程に規定があるが、再入学試験の実施方針及び募集方法を定めておく必要がある。資料のとおりの方針とスケジュールとしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

業務に関する料金の上限設定について

事務局から、業務に関する料金の上限設定について、資料4に基づき、「教員免許更新制度導入に伴う講習会の受講料及び社会人に対する継続教育、能力開発、生涯学習などを支援する「学び足し・学び直し」教育の機会を提供するための講習会等の料金の設定をしたい。この料金の上限設定に関しては、県知事の許可を受ける必要があり、本学規程も併せて整備する必要がある。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり議決した。

学長選考会議に係る委員の選出について

事務局から、学長選考会議に係る委員の選出について、資料5に基づき、「次期学長の選考に当たって、経営会議及び教育研究会議から3名ずつ計6名の委員からなる学長選考会議を設置して、学長の選考・解任手続き及び任期等の検討を行い、必要な規程等を整備したうえで、具体的な学長候補者の選考を平成21年の秋頃までには終えたい。については、学長選考会議の委員3名を教育研究会議の委員の中から選出いただきたい。」との説明があった。

審議の結果、河原畑廣委員、松岡泰委員及び半藤英明委員の3名を学長選考会議の委員として選出した。

(2) 報告事項

平成21年度授業暦（案）について

事務局から、平成21年度授業暦（案）について、資料6に基づき、「平成21年度の授業暦については、15回の授業日を確保するとともに、一部の曜日の授業を他の曜日に振り替えることで試験期間に授業日を混在させないようこととするとの基本方針の下に授業暦の案を作成した。」との報告があった。

平成21年度教員免許状更新講習の実施について

事務局から、教員免許状更新講習の実施について、資料7に基づき、「平成21年度の教員免許状更新講習については、第6回教育研究会議で報告した内容に沿って、公表されることを前提に分かりやすい文章表現としたうえで、資料のとおり

文部科学省に開設認定申請を行った。12月の定例記者会見でも発表する予定である。」との報告があった。

私立高校との高大連携について

事務局から、私立高校との高大連携について、資料8に基づき、「もっこすプランに基づき、私立高校との連携について検討を進めていたが、熊本県私立中学高等学校協会から信愛女学院高校の推薦があった。今後、文学部を中心として高大連携に取り組むこととし、連携内容の協議を行っていく。」との報告があった。

4 閉会